

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	大竹正章			
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)						
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)						
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1(外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2(国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)						
行程	6月2日(木) <small>澁美線</small> <small>新幹線</small> <small>東京メトロ</small> やぐま台駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ</small> <small>新幹線</small> <small>澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → やぐま台駅						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	9	3	2	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
合計		3	5	3	2	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

やぐま台駅→新豊橋駅(渥美線)	420円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→やぐま台駅(渥美線)	420円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

視察・研修等報告書

令和4年6月14日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上 誠
期 間	令和4年6月2日（木）～3日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	<p>●勉強会と要望活動 衆議院第二議員会館 会議室 （〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目1-2） 宿泊先：ホテルモントレ半蔵門 〒102-0082 東京都千代田区永田町2-1-2</p>			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	外務省、国交省職員による勉強会と党本部、農水省、国土交通省への陳情活動			
視 察 先 等 面 会 者	外務省総合外交政策局政策企画室長、国土強靱化推進室長他			
概 要 及 び 所 見	<p>●勉強会 1 真摯に外交努力がなされているようだ。もっとそうした努力を国民に知らしめることは出来ないものか？各国の利害関係を治めつつ自国の利益を損なわず多角的な外交チャンネルを拡充していただきたい。</p> <p>●勉強会 2 国土強靱化はまだまだこれからのようだ。一方で、全てに応えられる訳もなく、国力の高いうちに進む事業＝国益にかなう事業採択が進むのも当然である。</p> <p>●要望活動 眼前の課題である農産物を再生産可能な経営にしていくための回答を用意していない。所管省庁にして、嫌なら止めろという姿勢では、先は無い。補助事業への取り組み方も当てつけがましく、枠組み消化主義で対応は県任せ。彼らも大き</p>			

	<p>く成果を押し付けられていようが、食糧安全保障の観点からも改めて政策を練り直してほしい。</p>
--	--

愛知県第十五選挙区支部 研修会・要望会

【日 程】 令和4年6月2日(木) 、 10時02分の新幹線 田原発

【行 程】

時刻	内 容	場 所
10:30	豊橋駅 豊橋市議団20名、田原市議団13名 ※別紙名簿参照	新幹線改札口前
10:51 ~ 12:12	豊橋駅～東京駅（ひかり644号）	
12:30 ~ 12:36	東京駅～国会議事堂前駅(東京メトロ丸ノ内線 荻窪行)	
12:45	衆議院第二議員会館 着	千代田区永田町2-1-2
13:00	昼食 弁当	
14:00 ~ 15:00	勉強会「ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交」 海部様or小野報道官 調整中	千代田区永田町2-1-2 B1F第7
15:30 ~ 16:30	勉強会「国土強靱化について」 国土強靱化推進室 次長 五道仁実	千代田区永田町2-1-2 B1F第7
17:00	ホテルモントレ半蔵門 豊橋市議団・田原市議団・田原県議チェックイン	千代田区隼町1-1
18:30 ~ 21:00	懇親会 四十八漁場 山王パークタワー店 会費1人5,000円	千代田区永田町2-11-1 山王パークタワーB1

【日 程】 令和4年6月3日(金)

【行 程】

時刻	内 容	場 所
8:45	衆議院第二議員会館 党本部着	千代田区永田町2-1-2
9:00	要望と一人ずつ写真撮影 梶山弘志 幹事長代行 ※別紙プロフィール参照	千代田区永田町1-11-23 党本部6Fリハティ2-3
	③臨港道路「東三河臨海線」の早期実現	
	⑦「三河港」の整備促進(田原地区岸壁—10m 他)	
10:00	要望 農林水産省	衆議院第二議員会館9F918号室
10:00 ~ 10:15	①原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充	〃
10:15 ~ 10:30	②農業用資材、肥料等の高騰	〃
10:30 ~ 10:45	③再生産価格を基準とした収入保険制度の導入	〃
10:45 ~ 11:00	④先進的産地に対する補助事業の創設	〃
11:00 ~ 11:15	⑤畜産クラスター事業における複数年度の事業実施	〃
11:15 ~ 11:30	⑥各種農業農村整備事業の推進	〃
12:00	昼食 弁当	〃
13:00	要望 国土交通省	〃
13:00 ~ 13:15	⑧豊川用水二期事業の促進	〃
13:15 ~ 13:30	①浜松湖西豊橋道路の早期実現	〃
13:30 ~ 13:45	②名豊道路の建設推進	〃
13:45 ~ 14:00	③臨港道路「東三河臨海線」の早期実現	〃
14:00 ~ 14:15	④豊橋新城スマートIC(仮称)事業の促進	〃
14:15 ~ 14:30	⑤渥美半島道路の早期実現	〃
14:30 ~ 14:45	⑥設楽ダム建設事業の促進	〃
14:45 ~ 15:00	⑦「三河港」の整備促進(田原地区岸壁—10m 他)	〃
15:00 ~ 15:15	⑨豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発	〃
15:15 ~ 15:30	⑩豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進	〃
15:45	国会議事堂前駅 着	
16:02 ~ 16:08	国会議事堂前駅～東京駅(東京メトロ丸ノ内線 池袋行)	
16:33 ~ 17:53	東京駅～豊橋駅（ひかり651）	豊橋駅到着後、流れ解散

要 望 書

令和4年6月3日

自由民主党愛知第15区支部

自由民主党・田原支部

田原市議会・自由民主党田原市議団

(国土交通省)

- * 浜松・湖西・豊橋道路の早期実現
- * 名豊道路の建設促進
- * 臨港道路「東三河臨海線」の早期実現
- * 豊橋新城スマート IC (仮称) 事業の促進
- * 渥美半島道路の早期実現
- * 設楽ダム建設事業の促進
- * 「三河港」の整備促進 (田原地区岸壁-10m他)
- * 豊川用水二期事業の促進
- * 豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- * 豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進

(農林水産省)

- * 原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
- * 農業用資材、肥料等の高騰
- * 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- * 先進的産地に対する補助事業の創設
- * 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- * 各種農業農村整備事業の推進

浜松湖西豊橋道路早期実現に関する要望書

平素より三遠地域における社会基盤整備事業等の推進に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

三遠地域は、輸送機器を中心とした工業地帯、また温暖な気候に恵まれた農業地帯として全国有数の実績を誇り、その特徴を活かした農商工や医工などの分野において広域的な連携の動きが活発に進められてきております。

一方、当地域は南海トラフ巨大地震による甚大な被害が予想されるとともに、第3次救急医療施設へのアクセス強化など、防災・救急体制を支える交通網の構築と広域的に連携した災害時の代替手段の確保が喫緊の課題となっております。

また、浜松湖西豊橋道路は、三遠地域を南北に結ぶ地域連携の基軸として、物流生産性の向上や産業競争力の強化だけでなく、地域住民の安全・安心を確保するための国土強靱化、並びに「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の達成に資することのできる重要な社会基盤として、地域の期待は高まっております。

こうした中、昨年度対応方針が決定され、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査が実施されていることから、私たちは早期実現に向け期待をより一層強めているところであります。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目について格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
2. 浜松湖西豊橋道路は、東名・新東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路と一体となり、広域幹線ネットワークを形成する非常に重要な路線です。この路線の整備により、物流機能が向上し地域産業の活性化が図られ、国際競争力の強化にもつながるものであるとともに、地域防災力を高め大規模災害等への備えとなることで、強靱な国づくりに資するものであります。そのため早急に都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を実施し、早期実現を図ること。
3. 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和5年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

名豊道路の建設推進に関する要望書

平素より、名豊道路の建設推進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

名古屋市と豊橋市を結ぶ名豊道路は、自動車関連産業を核に、高度な産業集積を誇る、わが国を代表するモノづくり地域を貫き、港湾・空港等重要な拠点へのアクセス道路として交通・物流を支え、また、地域の安心・安全を確保し、三河湾に面した観光地の活性化と地場産業の振興等地方創生に寄与するとともに、高速道路、国土軸への広域アクセス機能を持つ重要路線であり、地域の発展のみならず、わが国の経済成長に欠くことのできない道路であります。

今後、新たな道路のネットワークの構築による日本経済の好循環、国際競争力の強化を図り、企業進出や観光客の増加等の産業面、観光面のストック効果を更に高めるため、名豊道路の整備促進が益々重要となっています。

そのような中、「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（中部ブロック版）」において、蒲郡バイパスの開通見通しが令和6年度と示されたことから、一日も早い開通が期待されています。

ついては、名豊道路の早期全線開通に向け、建設推進を図るため、下記の事項について要望します。

記

1. 「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」に定められた取組を確実に進めるため、必要な予算・財源を当初予算も含めた別枠での確保と、計画的な事業執行を図るための複数年度で大規模工事が行えるような弾力的な措置を講ずること。また、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策後も、継続的に取り組むこと。
2. 災害への備え及び観光等の経済活動復興に不可欠な、人流・物流の活性化に向けた高規格道路のミッシングリンクの解消や4車線化等の道路整備が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、令和5年度道路関係予算は所要額を満額確保し、地方の要請に応え緊急かつ計画的に事業を推進すること。
3. 日本経済・地域経済の好循環を図り、産業面・観光面等のストック効果を高めるため、名豊道路の早期全線4車線開通に向け建設推進を図ること。
 - (1) 未開通区間の令和6年度全線暫定開通に向け、確実に事業推進を図ること。
 - (2) 暫定2車線区間の4車線化を図ること。

臨港道路「東三河臨海線」の早期実現に関する要望書

三河港の整備ならびに振興につきましては、平素より格別のご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

三河港は、後背地に我が国を代表する自動車産業を中心とした産業の集積地を有しており、輸入自動車については、金額・台数ともに29年連続日本一を記録し、国内シェア50%以上を取り扱う等、日本経済を牽引する港として重要な地位を確立してきました。

また、三河港は、わが国のほぼ中央に位置し、その地理的優位性を活かした物流拠点であります。昨年度には、浜松湖西豊橋道路のルート帯案の選定や名豊道路の整備進捗などにより、背後圏の物流地図が大きく変貌を遂げるなかにおいて、日本の「ものづくり」産業の競争力や生産性を支える重要な港湾であります。

一方、物流拠点である神野地区では完成自動車、コンテナ貨物の他、鋼材、セメント、スクラップなど多種多様な貨物を扱っていますが、背後用地が狭く、神野地区でのモータープール用地が不足しており、一部、御津地区に完成自動車を保管せざるを得ない状況です。また、港湾背後の国道23号豊川橋などの慢性的な渋滞のため、時間とコストをかけた非効率な輸送が行われるなど、港としての一体的な利用の障壁となっています。

令和2年度より、勉強会を開催していただくなど、事業化に向けた検討を進めていただいておりますが、引き続き、効率的な港湾物流を実現し、三河港の一体利用を促進するため、下記の事項について要望します。

記

1. 臨港道路「東三河臨海線」の早期実現に向けた更なる検討をすること。

豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）事業の 促進に関する要望書

平素は、豊橋・田原・東三河地区の幹線道路網の整備促進に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の実現は、当地域の発展に大きく寄与することと考えており、豊橋市にとって、産業・医療・防災の面だけでなく、地域活性化や観光振興等の様々な効果が期待できます。

豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）を設置することにより、高速道路 I C へのアクセス時間が短縮でき、拠点間および企業間の連携を促進するとともに、物流の効率化による生産性の向上や地域産業を活用した地域振興などが図られます。また、医療施設までの時間短縮による救命率の向上が期待できるとともに、災害時においても高速道路 I C から地域防災活動拠点や被災地への支援ルートを確保することができます。

つきましては、豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）には地元からも大きな期待が寄せられていることから、早期開通に向けて事業推進を図るため、下記の事項について要望します。

記

1. 豊橋新城スマートインターチェンジ（仮称）の整備に向けた継続的な技術支援をすること。
2. スマートインターチェンジをはじめ生産性向上等に資する道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、令和5年度道路関係予算は、所要額を満額確保すること。

渥美半島道路の早期実現に関する要望書

平素より渥美半島のある東三河地域の道路整備につきまして、地域の骨格となる三遠南信自動車道、国道 23 号名豊道路等の整備促進、東三河をつなぐ東三河縦貫道路、豊橋渥美線バイパス等の整備、浜松湖西豊橋道路の都市計画・環境影響評価手続きの促進など格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

渥美半島にある田原市は、我が国を代表する自動車産業の集積地を有しており、農業では農業産出額 824 億円（令和 2 年調査全国 2 位）でコロナ禍においても日本の食糧供給基地として役割を果たすなど、日本経済・食料供給等の重要な役割を果たしております。

このように日本経済に重要な役割を果たしている地域でありながら、東名・新東名高速道路等の高速道路 IC から往復 3 時間以上を要するアクセスの非常に悪い地域です。救急医療における渥美半島の先端からの所要時間は、救急救命センターである豊橋市民病院まで 90 分以上、田原市唯一の総合病院である渥美病院まで 40 分以上を要し観光客や後継者不足に悩む農業従事者が、安心して訪れたり住んだりできない状況です。

「渥美半島道路」は、浜松湖西豊橋道路との接続から半島先端部を結び、東三河中心都市である豊橋市への「東三河 1 時間交通圏」の実現、高速道路等へのアクセス向上、ならびに国土強靱化を図る道路として、産業生産性向上、救急医療、災害対応などのストック効果が期待される道路です。

令和 3 年 3 月策定の新広域道路交通計画（広域道路ネットワーク計画）では起点を豊橋市、終点を田原市とした渥美半島を縦貫する「渥美半島道路」が、「高規格道路としての役割が期待されるものの、調査に着手している段階にない道路」とする「構想路線」とされました。

浜松湖西豊橋道路の早期実現に続き、そこから渥美半島先端まで高規格道路として「渥美半島道路」の早期実現を要望します。

設楽ダム建設事業の促進に関する要望書

愛知県東三河地域は8つの市町村で構成され、古くから豊川の水によって深く結びつき、上下流が一体となり発展してきた地域です。豊川利水地域は、全国有数の農業、工業地域である一方、水需給は逼迫しており、近年では令和元年5月に宇連ダムの貯水率が0%となるなど、これまで幾度となく大規模な渇水に見舞われ、住民生活や農業工業などの経済活動に大きな不安を与えてきました。

また、豊川流域では、古より度重なる洪水被害に悩まされており、豊川放水路の整備や狭窄部の改修工事を実施していただきましたが、近年でも台風により大規模水害が発生するなど、いまだ災害リスクを抱えています。

こうした中、恒久的・安定的な水の確保及び繰り返される洪水氾濫から人々の暮らしを守る設楽ダムの完成は豊川下流域の住民や自治体にとって長年の悲願であります。

設楽ダムは、昭和48年11月の設楽町への調査申し入れから36年の歳月を経た平成21年2月に建設同意に至りました。長く続く設楽町民のご労苦を重く受け止め、愛知県とも協力し、水源地域の振興・発展に誠意を持って全力で取り組んでいるところです。

この度、令和4年5月に開催された「中部地方整備局ダム事業費等監理委員会及び部会（設楽ダム建設事業部会）」にて、設楽ダム完成時期が8年延伸されることなどが示されました。主な変更要因については、働き方改革をはじめとする社会的要因の変化や現地の調査結果に対応するものであり、やむを得ないものと受け止めておりますが、水源地域の住民の皆様への生活再建対策及び設楽ダム完成は豊川流域全体の持続的な発展のためにはなくてはならないものです。

つきましては、以上の経緯や愛知県並びに下流域自治体の総意によるダム建設であることをご賢察いただき、設楽ダムの早期完成と水源地域の一層の振興、並びに生活再建対策の推進を図っていただきますようお願い申し上げます。

記

1. 愛知県及び下流域自治体の総意によるダム建設であることをご賢察いただき、設楽ダムの早期完成と水源地域の振興を図ること。
2. 付替道路整備の早期整備をはじめとした水源地域の方々の生活再建対策を引き続き推進すること。
3. 今後の事業本格化を踏まえ、必要な予算を引き続き確保すること。

「三河港」整備促進（田原地区岸壁－10m 他）に関する要望書

三河港の整備ならびに振興につきまして、平素より格別のご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

国の政策より、カーボンニュートラルポート（CNP）の形成など、所要の港湾機能の強化を推進し、強靱なサプライチェーンの構築など成長を支える基盤づくりのため、港湾の整備・振興を進めることが求められています。

三河港は、後背地に我が国を代表する自動車産業を中心とした産業の集積地を有しており、輸入自動車については、金額・台数ともに29年連続日本一を記録し国内シェア50%以上を取り扱う等、日本経済を牽引する港として重要な地位を確立してきました。

また、三河港は、わが国のほぼ中央に位置し、その地理的優位性を活かした物流拠点であります。昨年度には、浜松湖西豊橋道路のルート帯案の選定や名豊道路の整備進捗などにより、背後圏の物流地図が大きく変貌を遂げるなかにおいて、日本の「ものづくり」産業の競争力や生産性を支える重要な港湾であります。

三河港田原地区においては、脱炭素社会の実現にむけた潮流により、世界最大の電気炉で増産稼働する東京製鐵田原工場や、企業進出を予定する廃プラ・リサイクル企業から、大型輸送船舶の入港に対応する機能強化が求められております。

また、神野地区においては、特に冬季風浪におけるコンテナ船の離着岸に支障をきたしているなどの課題も有しております。

今後も地域産業のニーズに応え、港湾物流機能ならびに防災・減災機能の強化に地域一体となって全力で取り組むことが必要と考えております。

つきましては、港湾事業の整備促進を図るとともに、港湾予算を総額確保いただきますよう要望申し上げます。

記

1. 田原地区 岸壁（－10m）の早期実現

効率的なバルク貨物輸送の実現を図るための、船舶の大型化への対応をはじめ、大規模災害の発生に備えた緊急物資の輸送拠点となる耐震強化岸壁の早期実現に向け支援すること。

2. 神野地区防波堤（北）の早期整備

コンテナ船の安全な離着岸を可能とするため、コンテナバース前面の静穏度確保に向けた北防波堤の整備を着実に推進すること。

豊川用水二期事業の促進に関する要望書

豊川用水二期事業の推進につきましては、平素より格別のご理解とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

豊川用水は昭和43年の全面通水以降、愛知県東三河地域及び静岡県湖西地域に絶え間なく農業用水、水道用水、工業用水を供給し、本地域の劇的な発展に大きく貢献して参りました。

農業では、全国第8位の農業産出額を誇る愛知県の中核を担う全国屈指の優良農業地帯に発展するとともに、工業では製造品出荷額が半世紀で18倍以上と飛躍的に伸び続けています。また、水道用水では蒲郡市と田原市が9割以上を豊川用水に依存するなど、重要なライフラインとなっております。

このように、豊川用水は産業の発展や市民生活を支える重要な施設ですが、当地域は南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されていることから、豊川用水施設の一刻も早い地震対策を完了させる必要があります。

こうした状況の中、豊川用水二期事業に本年度66.7億円の予算が措置され、着実な事業進捗が図られておりますことに、関係者の皆様方へ深く感謝申し上げますとともに、食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業の成長産業化を支える農業用水の確保と有効利用は重要でありますので、今後も当地域における豊川用水の役割、施設の現状をご賢察いただき、下記の事項について格段のご配慮を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

記

1. 豊川用水二期事業について、令和5年度予算を確保し、着実な事業の推進を図ること。

豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発に関する要望書

豊橋市を中心とする愛知県東三河地域は、東京・大阪を結ぶ東海道の中央に位置し、長野県南部や静岡県西部とも歴史的に密接なつながりを持ち、ともに発展してきた地域であります。

当地域は、わが国を代表するものづくり地域を支える一大物流拠点である三河港を擁し、臨海部はもちろん、内陸部にも多くの企業が進出しています。

また日本列島の中央という地の利を活かした大都市圏との交通が頻繁な地域でもあり、鉄道4路線が乗り入れ、当地域のターミナル駅である豊橋駅は、東三河地域における公共交通機関の重要な結節点です。

今後予定されているリニア中央新幹線の開通により、東海道新幹線が「ひかり」「こだま」を中心とした輸送形態に移行するとともに、交通利便性向上に伴う地域の広域的な交通アクセスの整備が期待されます。

また、県内ではジブリパーク（本年11月開業予定）の整備や、当地域にゆかりのある徳川家康公を主役としたNHK大河ドラマ「どうする家康」（令和5年1月放送予定）を活用するプロモーションなど、注目度の高い新たな観光施策が進められています。さらに豊橋市内では、駅前の再開発により新たににぎわい拠点が生まれ、更なる人の流れが見込まれます。豊橋駅の利便性を高めることは、このような観光資源をハブとして地域の新たな観光周遊ルートの創出にも繋がります。

加えて、令和元年5月に本市を含めた三河地域の18市町村と商工会議所・商工会で構成される「三河地域新幹線駅利用促進期成同盟会」が設立され、東海道新幹線の利用価値を最大化するため、豊橋駅及び三河安城駅へ停車数の東海道新幹線（ひかり・こだま）の増便に向け、利用促進の啓発や要望活動に取り組んでいるところです。

地元経済界からの強い意向もありますので、本地域の住民サービス及び経済活動の利便性向上、地域振興活性化のため、下記について要望いたします。

記

1. 東海道新幹線「ひかり号」豊橋駅停車本数を増加すること。

豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進に関する要望書

平素より、治水対策推進に格別なご理解とご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

一級河川豊川は、流域に多大なる恩恵をもたらす一方で、度重なる水害を引き起こしてきました。これまでも、国土交通省のご尽力により様々な改修事業が進められてきましたが、左岸には現在でも4つの霞堤地区が残されており、昭和40年代から現在までに20回を超える浸水が発生するなど、住民の生活、経済活動に大きな影響を与えています。このような状況の中、先日設楽ダム完成時期が8年延伸されることが示され豊川の治水対策への影響も懸念される所です。霞堤の対策として、平成28年7月に策定されました「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」に基づき、現在小堤設置に向けた用地買収が進められているところであり、小堤設置などの治水対策に地域住民は大変期待を寄せております。

また、平成20年8月末豪雨により、市街地を流れる二級河川柳生川が越水し大規模な浸水被害を受けました。柳生川においては鉄道3橋、道路橋4橋が連立する狭窄区間において、令和元年度に「大規模特定河川事業」に採択していただき、愛知県により地下河川整備が進められていることに大変感謝申し上げます。しかし、河口部・中流域では、高潮等による水位上昇に伴う越流や堤防の老朽化が心配され、現在愛知県の事業として、堤防の嵩上げ・補強が進められているところですが、早期に完了することを切に願っております。

そのほか、二級河川梅田川においても、平成20年8月豪雨による被害を始め、これまで数多くの浸水被害を受けております。

近年、雨の降り方が頻発化・激甚化する状況の中、治水事業は住民の生命・財産を守る最も基本的な社会基盤整備事業です。以上の事情をご賢察賜り、次の項目について格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 治水対策に必要な予算・財源の確保

国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し計画的に治水対策の推進を図ること。

2. 豊川改修事業の推進

霞堤地区の小堤設置をはじめとした治水対策の推進を図ること。

3. 柳生川及び梅田川整備の支援

愛知県が実施する二級河川柳生川の地下河川整備、堤防の嵩上げ・補強及び二級河川梅田川の堤防の嵩上げなど治水対策に格別の支援を図ること。

原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充に関する要望書

新型コロナによる国民の生活や経済への影響が続く中、ロシアによるウクライナ侵略などの影響により、世界規模で不確実性が高まり、原油や穀物の国際価格の上昇、一部の水産物や原材料等の安定供給の滞りなど、国民生活に不安が生じています。

豊橋市・田原市におきましては、農業が非常に盛んな地域であり、農業に用いられる肥料や資材、飼料の高騰により農業経営を圧迫しているのが現状となっております。

このような状況の中、政府では「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を早期に打ち出していただき厚くお礼申し上げます。

一方で、ウクライナ侵攻はさらに長期化の様相であり、伴って原油価格・物価高騰もさらに長期化することが懸念されます。

つきましては、「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」を原油価格・物価高騰に併せて継続・拡充していただきますよう要望申し上げます。

農業用資材、肥料等の高騰に関する要望書

日頃より豊橋市・田原市農業行政の推進につきましては、格別のご高配ならびにご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

豊橋市・田原市は全国屈指の農業産地と知られ、トマト、つまもの、花きを中心とした施設園芸、キャベツ、白菜、果樹を中心とした露地野菜・果物が生産されております。また、養鶏を始め、養豚、養鶏、酪農、肉用牛などの畜産も盛んです。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、サプライチェーンの混乱や半導体などの資材の品薄、燃油価格の高騰等が農業経営へ大きく影響を与えています。また、急激な円安や、さらにはウクライナ情勢も予断を許さない状況であります。特に肥料については、原料の多くは輸入に依存しており、価格の高騰は先行きが見通せません。今後の農業経営や食料供給への重大な影響も懸念されます。このような中、「みどりの食料システム戦略」では、持続可能な食料システムの構築に向けた取り組みが急務となっておりますが、農業者が意欲を持って農業経営に取り組むためには、農業者等への過度な負担回避に対する支援が必要と考えます。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目について格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 農業用資材や肥料の価格高騰に対し、セーフティーネット対策がないため、早急に購入に対する支援、セーフティーネットの体制構築など新たな仕組みづくりに取り組むこと。
2. 燃油や配合飼料の価格高騰に対するセーフティーネット構築事業は、多くの農業者がその恩恵を受けており、引き続き安定的な運用と期中でも未加入者が制度に加入できるなど柔軟な対応をすること。

再生産価格を基準とした収入保険制度の導入に関する要望書

平素より豊橋市・田原市の農業に多大なるご理解、ご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、農業を取り巻く情勢は、資材や肥料の高騰、野菜価格の下落による農業所得の低迷が進行しており、必要経費は高くなり収入は低くなるという厳しい状況が続いております。農業経営の安定化は、農村集落の活力維持のための重要な課題となっており、後継者問題にも関わってきます。

対策のひとつとして、農産物の品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補てんする農業経営の収入保険制度があります。様々なリスクから農業経営を守る非常に使いやすい制度ではありますが、農家が必要とする収入の補償には至らなく再生産に繋がらない、などの意見や要望も多く存在する制度であります。つきましては、再生産できる基準価格設定について以下を要望します。

【要望事項】

品目別に再生産価格を設定し、その価格を基準とした収入補償制度の導入

保険料率は全経営体共通のものとして設定することとしているため、品目別に保険料率を設定することとはしていないのが現状であります。しかし、各品目には労働賃金や重油、肥料等の資材も含めた再生産価格がございます。農業経営の安定化のためにも、各品目別に再生産価格を設定し、その価格を基準とした収入保険制度の導入を要望いたします。

先進的産地に対する補助事業の創設に関する要望書

産地生産基盤パワーアップ事業や農地利用効率化等支援交付金などの補助制度はポイントの要件として売上の10%以上向上等が求められますが、先進産地である豊橋市・田原市では10%向上は非常に困難な目標となっています。投資意欲のある若手農家も数多くいるものの、新興産地に比べ補助制度の利用が困難で、農家のモチベーションが低下する要因となっております。また、先進的に施設化等に取り組んできた中で、農業用施設の老朽化により耕作放棄地化する農地も増加してきているのが現状です。

つきましては、以上の事情をご賢察賜り、次の項目について格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 先進産地に対するポイント制度の見直しをお願いしたい。
2. 現存産地の持続力向上のため自己所有の老朽化施設の再整備や撤去に向けた支援制度の検討をお願いしたい。

畜産クラスター事業における複数年度の事業実施に関する要望書

豊橋市・田原市の畜産は、乳用牛、肉用牛、豚、採卵鶏、ブロイラー、うずらと多様で、どの畜種も近代化された施設で飼養されており、それぞれブランド化が図られています。

近年、豊橋市・田原市では養豚及び養鶏農家において大規模な施設整備に対する要望が増加しており、こうした事業要望では、工期が1年を超えることがあるため、複数年かけて段階的に畜舎等を整備するケースが増加しています。

しかしながら畜産クラスター事業においては、複数年の事業実施を前提とした事業計画が認められていないのが現状です。

つきましては、生産基盤の強化の推進に資する大規模な施設整備を後押しするため、複数年での事業実施が可能になるよう、検討していただきたく要望します。

各種農業農村整備事業の推進に関する要望書

豊橋市・田原市は、豊かな自然に恵まれている地域であり、豊川用水の全面通水以降、大規模な生産基盤の整備も進められ、生鮮野菜類の産地化と温室・畜産団地などの造成により全国的にも類を見ない農業先進地域となっております。しかしながら荒廃農地も多く、ため池の老朽化、集落の環境整備などの課題も多くあり、現在以下の事業が進められております。

経営体育成基盤整備事業（旧畑総）

県営かんがい排水事業

（豊橋）二回地区	実施期間（平成27年～令和4年）	総事業費 2,146,000 千円	R4 進捗率 100%
（豊橋）神野新田地区	実施期間（平成28年～令和5年）	総事業費 2,710,000 千円	R4 進捗率 88.3%
（豊橋）牟呂明治地区	実施期間（令和4年～令和9年）	総事業費 454,000 千円	R4 進捗率 7.1%

県営ほ場整備事業

（豊橋）三郷地区	実施期間（平成29年～令和8年）	総事業費 5,019,000 千円	R4 進捗率 31.2%
（豊橋）東細谷地区	実施期間（平成30年～令和9年）	総事業費 4,719,000 千円	R4 進捗率 20.0%

農地中間管理機構関連事業（地元負担金 0 円）

（田原）和地太田地区	実施期間（平成30年～令和6年）	総事業費 1,610,000 千円	R4 進捗率 80.1%
（田原）伊良湖3期地区	実施期間（令和2年～令和10年）	総事業費 1,451,000 千円	R4 進捗率 8.8%

ため池等整備促進事業

県営老朽ため池整備事業

（田原）大正池地区	実施期間（平成30年～令和4年）	総事業費 345,078 千円	R4 進捗率 100%
-----------	------------------	-----------------	-------------

県営防災ダム事業

（豊橋）高山池地区	実施期間（平成30年～令和5年）	総事業費 253,000 千円	R4 進捗率 99.0%
（豊橋）ひょうたん池地区	実施期間（令和2年～令和5年）	総事業費 75,000 千円	R4 進捗率 86.7%
（豊橋）三太郎池地区	実施期間（令和3年～令和6年）	総事業費 125,000 千円	R4 進捗率 29.8%
（田原）滝頭上池・下池地区	実施期間（令和3年～令和7年）	総事業費 216,000 千円	R4 進捗率 14.8%

（次ページへつづく）

たん水防除促進事業

県営たん水防除事業

(豊橋) 新清須地区	実施期間 (平成 26 年～令和 4 年)	総事業費 2,039,000 千円	R4 進捗率 88.3%
(豊橋) 新高師地区	実施期間 (平成 28 年～令和 5 年)	総事業費 1,059,000 千円	R4 進捗率 89.9%
(豊橋) 野依地区	実施期間 (平成 29 年～令和 6 年)	総事業費 1,089,000 千円	R4 進捗率 76.8%
(豊橋) 新梅藪地区	実施期間 (平成 30 年～令和 6 年)	総事業費 1,061,000 千円	R4 進捗率 37.1%
(豊橋) 三郷地区	実施期間 (平成 31 年～令和 7 年)	総事業費 1,926,000 千円	R4 進捗率 24.0%
(田原) 新天白地区	実施期間 (平成 27 年～令和 7 年)	総事業費 2,001,900 千円	R4 進捗率 74.9%

県営農業水利施設保全対策事業

(田原) 豊島地区	実施期間 (令和 4 年～令和 7 年)	総事業費 379,000 千円	R4 進捗率 4.0%
-----------	----------------------	-----------------	-------------

農村振興総合整備事業 集落環境整備

(田原) 大草・高松地区	実施期間 (平成 18 年～令和 7 年)	総事業費 874,000 千円	R4 進捗率 86.1%
(田原) 東部地区	実施期間 (平成 19 年～令和 7 年)	総事業費 991,000 千円	R4 進捗率 63.4%

以上多くの重要な事業が実施されております。

つきましては、これらの事業の確実な進捗が図られるよう、国におかれましては、農業農村整備事業費の十分な確保を要望します。

愛知第 15 区支部 国への陳情者参加者

自由民主党・田原支部

田原市議会・自由民主党田原市議団

団 長	大竹 正章	幹事長	中神 靖典
市議会議員	長神 隆士	市議会議員	古川 美栄
市議会議員	岡本 禎稔	市議会議員	村上 誠
市議会議員	内藤 喜久枝	市議会議員	鈴木 和基
市議会議員	内藤 浩		
議 長	森下 田嘉治	副議長	仲谷 政弘

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	長神隆士		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町 23番1号)					
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1 (外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2 (国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動 (自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行程	6月2日(木) <small>澁美線</small> <small>新幹線</small> <small>東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ</small> <small>新幹線</small> <small>澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察・研修等報告書

令和 4 年 6 月 10 日

田原市議会議長 殿

会派名自由民主党田原市議団

議員名

長神隆士

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹正 章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和 4 年 6 月 2 日（木）～令和 4 年 6 月 3 日（金）			
視 察 ・ 研 修 等 先	令和 4 年 6 月 2 日～3 日とも 衆議院議員第二議員会館（東京都千代田区永田町 2-1-2）			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	6 月 2 日 勉強会 1、日本の外交について 勉強会 2、国土強靱化について 6 月 3 日 要望活動（自由民主党本部、農林水産省、国土交通省）			
視 察 先 等 面 会 者	・自由民主党幹事長代理 梶山弘志 ・自由民主党総務会長 福田達夫			
概要及び所見	<p>・初日の勉強会 1 はウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交について外務省総合外交政策局政策企画室長の松原一樹氏より講義を頂いた。所見として外交の目的は自国の国益を確保することで具体的には平和、繁栄、国際秩序の 3 つであり安定と繁栄なくして日本の平和と繁栄もない、そして基本的価値観を大切に作る国が増えれば増えるほど世界全体が平和と繁栄に繋がっていく。現在ロシアによるウクライナの侵攻で本当に 21 世紀にこんな戦争が起きるのかと、ものすごく衝撃を与える物になった。ロシアがうまくいったという事になればロシアで終わらなく成ってしまう。そうならないようヨーロッパと一緒に経済制裁を行っている分けですが、エネルギーとか食料などロシアに頼りすぎてきた。今後日米同盟のその抑止力が重要性を増してきている。</p> <p>・勉強会 2 は国土強靱化について内閣官房国土強靱化推進室次長の五道仁実氏より講義を頂いた。所見として国土強靱化に対して 5 カ年で 15 兆円つけて頂いており事業が進んでい</p>			

るところです、これは令和6年までは予算がある分けですがその後の予算と言うのは国土強靱化の予算の先は見えていないとのこと、逆に言うところの予算が付かないと浜松湖西豊橋道路もどうなるか分からない、まして渥美半島道路もどうなるか分からないゆえに我々がやらなければいけないことは、この国土強靱化をこれからも継続的に実証して行けるような運動を政治家へ展開していく必要がありますこれが地域のインフラ整備に繋がり、道路だけでなく河川も含めいろんな事が出来るのではないかと感じました。

・2日目の要望活動は自民党本部、農林水産省、国土交通省と16項目の要望書を各所管が担当している部局に豊橋、田原の県議が各要望書の説明をして手渡しお願いをしました。梶山弘志自民党幹事長代行へは、豊橋、田原の県議市議ともに臨海道路「東三河臨海線」の早期実現、「三河港」の整備促進（田原地区岸壁—10^等他）の要望を致しました。自由民主党総務会長福田達夫氏へは予算要望しました。改めて豊橋、田原の農業生産についてアピールすると共に先程農林水産省管理職へ要望した「原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡大」「農業用資材、肥料等の高騰」「再生産価格を基準とした収入保険制度の導入」「先進的産地に対する補助事業の創設」「畜産クラスター事業における複数年度の事業実施」「各種農業農村整備事業の推進」を要望致しました。政治家としての捉え方を学ばせて頂いた。高齢化、後継者不在による離農、施設の老朽化と農協の活用など活発な意見交換がなされた。コロナ禍の中での要望活動でしたが今までと違った形の方法で要望出来たことは大変成果に繋がったと思いました。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	中神靖典		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)					
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1(外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2(国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行程	6月2日(木) <small>澁美線</small> <small>新幹線</small> <small>東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ</small> <small>新幹線</small> <small>澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1 日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520 円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900 円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170 円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170 円

2 日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170 円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170 円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900 円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520 円
日当(2,000 円×2 日)	4,000 円
宿泊	12,000 円×1 泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100 円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200 円

愛知県第十五選挙区支部 研修会・要望会

中神靖典

令和4年6月2日午後、衆議院第二議員会館にて、勉強会を開催。

・「ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交」

外務省 総合外交政策局政策企画室長 松原一樹

日本外交の目的は、日本の国益を確保することである。国際情勢は、冷戦の終結により経済のグローバル化が進み、パワーバランスの変化が生まれてきている。ロシアによるウクライナ侵略は、一国の主権と領土の一体性を力によって変更しようとするもので、国際秩序の根幹を揺るがす暴挙である。新型コロナや気候変動等の地球規模課題の深刻化してきている。日本の外交政策は、厳しさを増す安全保障環境は日米同盟の抑止力・対処力の強化を、経済安全保障は、「戦略的自立性」と「戦略的不可欠性」の獲得を、揺らぐ国際秩序は、「自由で開かれたインド太平洋」の推進を、地球規模課題には各国・地域の自立を後押ししていく。

・「国土強靱化について」 国土強靱化推進室次長 五道仁実

国土強靱化は、人命の保護が最大限図られること、重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること、被害の最小化、迅速な復旧・復興を基本目標として、「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会を構築することである。

6月3日 梶山弘志幹事長代行、福田達夫総務会長、農林水産省、国土交通省に要望。

要望事項

- ・豊川用水二期事業の促進
- ・豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進
- ・設楽ダム建設事業の促進
- ・浜松湖西豊橋道路の早期実現
- ・渥美半島道路の早期実現
- ・名豊道路の建設推進
- ・豊橋新城スマートIC（仮称）事業の促進
- ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- ・臨港道路「東三河臨港線」の早期実現
- ・「三河港」の整備促進（田原地区岸壁—10m他）
- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
- ・農業用資材、肥料等の高騰
- ・再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- ・先進的産地に対する補助事業の創設
- ・畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- ・各種農業農村整備事業の推進

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	岡本禎穂			
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)						
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)						
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1(外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2(国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)						
行程	6月2日(木) 三河田原駅 <small>渥美線</small> → 豊橋駅 <small>新幹線</small> → 東京駅 <small>東京メトロ</small> → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二会館 <small>徒歩</small> → 国会議事堂前駅 <small>東京メトロ</small> → 半蔵門駅 <small>徒歩</small> → ホテル ----- 6月3日(金) ホテル <small>徒歩</small> → 半蔵門駅 <small>東京メトロ</small> → 国会議事堂前駅 <small>徒歩</small> → 衆議院第二議員会館 → 国会議事堂前駅 <small>東京メトロ</small> → 東京駅 <small>新幹線</small> → 豊橋駅 <small>渥美線</small> → 三河田原駅						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃		1	9	5	2	0
	車賃						
	航空賃						
	日当			4	0	0	0
	宿泊料		1	2	0	0	0
	研修費						
合計		3	5	5	2	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察研修報告書

田原市議会議長 殿

岡本 禎稔

日時 令和4年6月2日(木)～3日(金)

国への要望活動及び勉強会

場所 衆議院会館、自民党本部

6月2日(木) 衆議院会館

勉強会

「ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交」

外務省総合政策局政策企画室長 松原 一樹 氏

日本の国益を確保することが外交の大きな目的である。それにより、平和な社会、経済における繁栄、基本的価値に基づいた国際秩序が保たれている。

外交の政策は、中国や北挑戦、ロシアなどの近隣ゆえ、安全保障環境として厳しさをましている。ゆえに、日本の防衛力の強化および日米同盟の抑止力と対処能力を図をさらに図る必要がある。経済安全保障では、戦略的自立に重きを置き、多角化を図り他国に依存しないように、また、逆に日本の存在が不可欠な分野を拡大して、他国に依存させる技術を持つことが重要である。先端的な技術についての官民の協力で特許の非公開も必要となってくる。

「国土強靱化について」

内閣官房 五道 仁実 氏

防災、減災、国土強靱化のため5か年計画の加速の取り組みについて

大災害から人命や財産を守ることは、事前防災対策の重要性が大きい。事前防災対策が疎かであると大災害に見舞われた時には社会経済等への打撃が大きく、損なわれるものも計り知れない。事前防災対策を行う必要性や重要性を考えると自ずから国土強靱化の取り組みが大事となる。国土強靱化の計画は3か年の緊急対策と5か年の加速化対策と2つある。1つ目の3か年緊急対策は平成30年度から令和2年度まで、事業費約7兆円だった。2つ目の5か年加速化対策は現在進行中で、令和3年度から令和7年度までの予定で、事業費は約15兆円の予定。豊川水系流域治水プロジェクトが含まれており、事業費

は約 1,705 億円である。

6月3日（金） 自民党本部

要望活動

自由民主党幹事長代行 梶山 弘志 氏

- ・ 臨海道路（東三河臨海線）の早期実現
- ・ 三河港の整備促進（田原地区岸壁—10M）

自由民主党総務会長 福田 達夫 氏

- ・ 豊川用水二期工事の促進
- ・ 原油価格、物価高騰等総合緊急対策の継続、拡充
- ・ 農業用資材、肥料等の高騰対策
- ・ 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- ・ 先進的産地に対する補助事業の創設
- ・ 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- ・ 各種農業農村整備の推進

衆議院会館

農林水産省

- ・ 原油価格、物価高騰等総合緊急対策の継続、拡充
- ・ 農業用資材、肥料等の高騰対策
- ・ 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- ・ 先進的産地に対する補助事業の創設
- ・ 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- ・ 各種農業農村整備の推進

自民党本部での要望とほぼ同じ内容。

国土交通省

- ・ 豊川用水二期工事の推進
- ・ 豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進
- ・ 設楽ダム建設事業の促進
- ・ 浜松湖西豊橋道路の早期実現
- ・ 渥美半島道路の早期実現
- ・ 豊橋新城スマートインター事業の促進
- ・ 豊橋駅停車の新幹線「ひかり号」の増発
- ・ 臨海道路、東三河臨海線の早期実現

・三河港の整備促進（田原地区岸壁—10M）

農林水産省の方も同席をして頂いた

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	村上 誠		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)					
視察・研修 等 目 的	(6月2日) ・勉強会1(外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2(国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行 程	6月2日(木) 豊島駅 → ^{有楽町線} 豊橋駅 → ^{新幹線} 東京駅 → ^{東京メトロ} 国会議事堂前駅 → 衆議院第二会館 → ^{徒歩} 国会議事堂前駅 → ^{東京メトロ} 半蔵門駅 → ^{徒歩} ホテル ----- 6月3日(金) ホテル → ^{徒歩} 半蔵門駅 → ^{東京メトロ} 国会議事堂前駅 → ^{徒歩} 衆議院第二議員会館 → 国会議事堂前駅 → ^{東京メトロ} 東京駅 → ^{新幹線} 豊橋駅 → ^{有楽町線} 豊島駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	4	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合 計	3	5	4	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

豊島駅→新豊橋駅(渥美線)	470円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→豊島駅(渥美線)	470円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

自由民主党愛知 15 区支部勉強会・要望活動について報告

氏名 自由民主党田原市議団 村上 誠

実施日	令和 4 年 6 月 2 日 (木) ~ 令和 4 年 6 月 3 日 (金)
会場	衆議院第 2 議員会館、自由民主党本部
勉強会	<p>【外務省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 国際情勢認識と日本の外交政策 ・講師 外務省総合外交政策企画室長 松原一樹氏 <p>【内閣官房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演題 国土強靱化の推進について ・講師 国土強靱化推進室次長 五道仁実氏
要望活動	<p>【自由民主党】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹事長代行 梶山弘志氏 <p>【自由民主党】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務会長 福田達夫氏 <p>【農林水産省、国土交通省】</p>
<p>《勉強会について》</p> <p>【外務省】 国際情勢認識と日本の外交政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本外交の目的 日本の国益を確保 ・国際情勢認識 安全保障環境 現在の世界情勢(ロシアによるウクライナ侵略等) 地球規模課題(新型コロナ、温暖化による気候変動等) ・日本の外交政策 厳しさを増す安全保障環境に対して対処力の強化 経済安全保障のため、戦略的自律性、重用技術の官民協力等 地球規模課題として、日本の支援は各国に対し自立への後押し <p>【内閣官房】 国土強靱化の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国土強靱化とは ・国土強靱化の関係予算 ・国土強靱化の緊急対策・取り組み事例や効果事例 ・国土強靱化の今後の取り組み <p>※大災害から国民を守るために、事後対応の繰り返しを避け、事前に防災対策を行うことが重要であることを認識した</p>	

《要望活動について》

要望書は、自由民主党の梶山弘志幹事長代行と福田達夫総務会長には、要望内容を本人に要望直接手渡し、そのあと要望内容説明した。

そして、各省への要望書は、会場が設営され、要望内容の各省担当者と豊橋、田原の議員との対面方法で要望内容を説明した

要望内容は以下のとおり

- 【梶山弘志幹事長代行】
 - ・臨港道路「東三河臨海線」の早期実現
 - ・「三河港」の整備促進(田原地区岸壁10m他)
- 【農林水産省】
 - ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
 - ・農業資材、肥料の高騰
 - ・ほか4項目
- 【福田達夫総務会長】
 - ・豊川用水二期事業の促進
 - ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
 - ・農業資材、肥料の高騰
 - ・ほか5項目
- 【国土交通省】
 - ・豊川用水二期事業の促進
 - ・豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進
 - ・設楽ダム建設事業の促進
 - ・浜松湖西豊橋道路の早期実現
 - ・名豊道路の建設推進
 - ・渥美半島道路の早期実現
 - ・名豊道路の建設推進
 - ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
 - ・臨港道路「東三河臨海線」の早期実現
 - ・三河港の整備促進

※以前は、各省に出向き議員の代表者で要望していたが、今回は、要望先担当者と議員全員との対面での方法でしたので大変良かったと思いました。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	古川美栄		
旅行先	6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)					
視察・研修 等目的	(6月2日) ・前泊 (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行程	6月2日(木) <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">澁美線</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">新幹線</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">徒歩</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 半蔵門駅 → ホテル <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 6月3日(金) <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">徒歩</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">新幹線</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 10px;">澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	3	5	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		2	5	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合計	3	3	8	5	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×1日、500円×1日)	2,500円
宿泊	12,000円×1泊

視察・研修等報告書

令和 4 年 6 月 13 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 古川美栄

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹正 章	経 理 責任者	村上誠
期 間	令和 4 年 6 月 2 日(木)～令和 4 年 6 月 3 日(金)			
視 察 ・ 研 修 等 先	自民党本部・農林水産省・自民党本部・国土交通省			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	要望活動			
視 察 先 等 面 会 者				
概 要 及 び 所 見	① 自民党幹事長代行 梶山弘志 臨海道路「東三河臨海線」 「三河港」の整備促進（田原岸壁—10m） ② 農水省 原油・物価高騰・農業資材・肥料の高騰 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入 先進地に対する補助制度の創設 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施 各種農業農村整備の推進 ③ 自由民主党総務会長 福田達夫 豊川用水に寄港時の推進 原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充 農業資材・肥料等の高騰 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入 先進的産地に対する補助制度の創設 各種農業農村整備の推進 ④ 国土交通省			

	<p>豊川用水二期工事の推進 豊川、柳生川、梅田川の治水対策工事 設楽ダム建設事業の促進 浜松湖西豊橋道路の早期実現 渥美半島道路の早期実現 豊橋新城スマート IC 事業の促進 豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発 臨海道路「東三河臨海道」の早期実現 「三河港」の整備促進（田原港岸壁—10m）</p>
--	---

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会 派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経 理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	仲谷政弘		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町 23番1号)					
視察・研修 等 目 的	(6月2日) ・勉強会1 (外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹 氏) ・勉強会2 (国土強靱化推進室 次長 五道仁実 氏) (6月3日) ・要望活動 (自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行 程	6月2日(木) <small>滯美線</small> <small>新幹線</small> <small>東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ</small> <small>新幹線</small> <small>滯美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車 賃					
	航空賃					
	日 当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合 計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

田原市議会議員

仲谷 政弘

国への要望活動及び勉強会

日時 : 令和4年6月2日(木) 3日(金)
場所 : 勉強会 衆議院第二議員会館 (B1F 会議室)
要望活動 自民党本部 衆議院第二議員会館 (918 号室)

2日(午後)

勉強会 衆議院第二議員会館 (B1F 会議室)

外務省総合政策局政策企画室長 松原 一樹

「ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交」

日本の外交の目的は、日本の「国益」を確保することで①平和 ②繁栄(経済、社会) ③基本的価値に基づく国際秩序に取り組んでいる。

国際情勢として、経済のグローバル化がパワーバランスの変化により、安全保障環境が厳しさを増し、他国の政策変更を企図(くわだて)した経済的威圧を押し進めている状況が見える。ロシアによるウクライナ侵略は、一国の主権と領土の一体性を力によって変更しよとするものでロシアが勝利しない(上手くいかない)よう、代償をさせるようにすることや国際秩序の根幹である(武力の行使の禁止、法の支配、人権の尊重等)を揺るがす暴挙は絶対に認めてはいけないようにすることが必要。

日本の外交政策としては、中国、北朝鮮、ロシアが近隣のため安全保障環境として厳しさを増しているため、日本自身抜本的な防衛力強化をし(日米同盟の抑止力と対処能力の強化)を図る。また、経済安全保障として、「戦略的自立」多角化し他国に過度に依存しない、また、日本の存在が不可欠な分野を拡大(他国に依存させる技術を持つこと)の獲得が必要で、また、先端的な重要な技術についての官民の協力で特許の非公開も必要となってくる。また、自由で開かれたインド太平洋の推進を着実に進め播らぐ国際秩序に対応していく必要がある。

内閣官房 国土強靱化推進室 五道 仁実

「国土強靱化について」

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策の取り組みについて

国土強靱化は大災害から人命・財産を守ることで、事前防災対策の重要性が大きく、防災対策が後手に回ることにより社会経済等への大きな損失を出すことがあるので、事前防災

対策を行う必要性・重要性が出てくる考えから国土強靱化の取り組みが行われるようになった。

国土強靱化の3か年緊急対策と5か年加速化対策の概要については、3か年は平成30年度～令和2年度で事業費（7兆円）終了し、現在は、5か年加速化対策で令和3年度～令和7年度までに約15兆円の事業費規模で進めているが、事業の最終年度で対象事業（123事業）のうち約半分の65事業が完了で、残りは令和8年度以降になる。豊川水系流域治水プロジェクトも含まれる。（事業費約1.705億円）

今後の取り組みとして、令和5年に国土強靱化の基本計画変更閣議決定を行う予定となっており、そこで計画体系に関わる意見の中で、経済財政諮問会議の資料として・「デフレギャップを埋めるべき」といった予算規模ありきの議論から脱却すべき。「と」・個別の予算において、定量的な成果目標と結果検証が求められる。との意見が出されていますので、我々も陳情活動もしっかり続け期待をしたいと思います。

3日（午前） 要望活動

自民党本部

自民党幹事長代行 梶山 弘志

- ・臨港道路「東三河臨海線」の早期実現
- ・「三河港」の整備促進（田原地区岸壁-10m 他）
- *地域全体で継続して陳情を行うことは重要（大切）とアドバイスを頂いた。

衆議院第二議員会館9F918号室

農林水産省

- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
- ・農業資材、肥料の高騰
- ・再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- ・先進的産地に対する補助制度の創設
- ・畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- ・各種農業農村整備の推進
- *農業資材、肥料の高騰対策と輸入に頼っている肥料の確保と近年の農業経営は売り上げを伸ばしても、経費（資材、人件費）が上がり真綿で首を絞められていくように利益が出ない収入保険のさらなる拡充と見直しを要望した。
- *田原市は先進的な農業地帯ではあるが、廃業される農家も多く施設が朽ちていき耕作放棄地化している現状が見られる。また、自己所有の老朽化施設の再整備や撤去に向けた支援制度の検討を強く要望した。

自民党本部

自由民主党 総務会長 福田 達夫

- ・豊川用水二期事業の促進
 - ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
 - ・農業用資材、肥料等の高騰
 - ・再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
 - ・先進的産地に対する補助事業の創設
 - ・畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
 - ・各種農業農村整備の推進
- * 田原として、施設の老朽化した取り壊しと整備について強く補助要請した。

3日（午後） 要望活動

衆議院第二議員会館 9F 918 号室

国土交通省

- ・豊川用水二期工事の推進（農水省同席）
- ・豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進
- ・設楽ダム建設事業の促進
- ・浜松湖西豊橋道路の早期実現
- ・渥美半島道路の早期実現
- ・豊橋新城スマート IC（仮称）事業の促進
- ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- ・臨海道路「東三河臨海線」の早期実現
- ・「三河港」の整備促進（田原地区岸壁－10m 他）

* 田原市として、岸壁（－10m）の早期実現 東京製鉄、バイオマス発電の進出等があり早期に船舶の大型化の対応が必要で、また、早期の効率的なバルク貨物輸送が必要となっている。ことを強く要望した。

* 渥美半島道路の早期実現 構想路線から次の段階に進めていただくようお願い（要望）をした。

* 「ひかり」の増発については、豊橋市以外では、強く要望している市（駅）は東京駅から新大阪駅間の市（駅）からはないとのこと。

* 今回の要望活動は、コロナ下でもあり、感染対策に配慮し、各省庁に出向くスタイルはやめ、衆議院第二議員会館 9F 918 号室の会議室に各省庁の担当の方々に来ていただき要望活動を行いました。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	森下 嘉治		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町 23番1号)					
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1 (外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2 (国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動 (自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行程	6月2日(木) <small>澁美線</small> <small>新幹線</small> <small>東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩</small> <small>東京メトロ</small> <small>徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ</small> <small>新幹線</small> <small>澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察・研修等報告書

令和4年6月10日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 森下 田嘉治

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	中神 靖典
期 間	令和4年6月2日（木）～令和4年6月3日（金）			
視察・研修 等先	自由民主党本部、衆議院第二議員会館			
視察・研修 等の目的	要望活動 研修会			
視察先等 面会者	要望活動（自由民主党幹事長代行 梶山弘志氏） （自由民主党総務会長 福田達夫氏） （農林水産省、国土交通省各担当課） 研修会（外務省総合外交政策局政策企画室長 松原一樹氏） （内閣官房国土強靱化室次長 五道仁実氏）			

概要及び所見

要望活動

国土交通省

- ・浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現
- ・名豊道路の建設推進
- ・設楽ダム建設事業の促進
- ・三河港の整備促進（田原地区岸壁－10m）
- ・豊川用水二期事業の推進
- ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発
- ・豊川、柳生橋、梅田川の治水対策推進
- ・豊橋新城スマートIC事業の促進
- ・臨海道路「東三河臨港線」の早期実現
- ・渥美半島道路の早期実現

自由民主党・農林水産省

- ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充
- ・農業資材、肥料等の高騰
- ・再生産価格を基準とした収入保険制度の導入
- ・先進的産地に対する補助事業の創設
- ・畜産クラスター事業における複数年度の事業実施
- ・各種農業農村整備事業の推進
- ・三河港の整備推進（田原地区岸壁－10m）
- ・豊川用水二期事業の推進
- ・臨港道路「東三河臨海線」の早期実現

以上が要望活動の内容である。

研修会

- ・国際情勢認識と日本の外交政策について
外交の目的、国際情勢認識、日本の外交政策
- ・国土強靱化の推進について
人命の保護が最大限に図られること
重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること
被害の最小化
迅速な復旧、復興

喜久枝

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	内藤喜久枝		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館(〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)					
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1(外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2(国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動(自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行程	6月2日(木) <small>澁美線 新幹線 東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small>徒歩 東京メトロ 徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small>徒歩 東京メトロ 徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small>東京メトロ 新幹線 澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察・研修等報告書

令和4年6月10日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 内藤喜久枝

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和4年6月2日（木）～令和4年6月3日（金）			
視察・研修 等先	外務省・国土交通省・自由民主党本部・農林水産省・			
視察・研修 等の目的	勉強会（外務省総合外交政策局）（国土強靱化推進室） 要望活動（自由民主党本部・農林水産省・国土交通省）			
視察先等 面会者	外務省・松原一樹氏 国土強靱化推進室次長・五道仁実氏 自民党幹事長代行 梶山弘志氏 自民党総務会長 福田達夫氏			
概要及び所見	6月2日 勉強会1 国際情勢認識と日本の外交政策 松原一樹氏 日本外交の目的 日本の「国益」を確保する事 ① 日本の平和 ②日本の繁栄 ③基本的価値に基づく国際 秩序 →世界の繁栄 ② 国際情勢認識 冷戦終結→経済のグローバル化→パワーバランスの変化 ・厳しさを増す安全保障環境 ・他国の政策の変更を企図した経済的威圧 ロシアによるウクライナ侵略 ・一国の主権と領土の一体性を力によって変更しようとするもの ・欧州のみならず、アジアを含む国際秩序の根幹（武力行使の禁止、法の支配、人権の尊重等）を揺るがす暴挙 地球規模課題（新型コロナ、気候変動等）の深刻化			

① 日本の外交政策

- ・厳しさを増す安全保障環境
日本自身の抜本的な防衛力強化→日米同盟の抑止力・対処力の効果

② 経済安全保障

- ・戦略的自立性(他国に過度に依存しない)と戦略的不可欠性の獲得
- ・サプライチェーンの強靱化・基幹インフラの安全性・信頼性の確保
- ・先端的な重要技術についての官民協力・特許の非公開化

③ 揺らぐ国際秩序→「自由で開かれたインド太平洋」の推進

④ 地球規模課題

- ・日本支援の特徴：各国・地域の「自立」を後押し
例「魚をあげるのではなく、魚の取り方を教える」

これらの事を鑑みて、政策を実行しているとの講義があった。

勉強会 2 国土強靱化の推進について

内閣官房 国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏

① 防災・減災・国土強靱化のための5カ年加速化対策の取組

- ・国土強靱化の経緯→我が国の防災・減災対策は、過去の大災害の教訓を踏まえて、防災（伊勢湾台風）から減災（阪神淡路大震災）、そして国土強靱化（東日本大震災）へと深化。さらに近年毎年のように各地で自然災害が頻発するようになり、事前防災対策の重要性が高まっている。

② 防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策

- ・防災のための重要インフラの緊急点検
- ・国民経済・生活を支える重要インフラの機能維持を約7兆円確保し、3年間で実施する

③ 防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策

- ・流域治水対策・道路施設の老朽化対策・公立小中学校の老朽化対策
- ・河川の流域対策を約15兆円をかけ対策を加速していく。

6月3日

要望会

自民党本部→臨港道路「東三河臨港線」の早期実現・三河港の整備促進
農林水産省→原油高・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充他6項目について要望した。

国土交通省→豊川用水2期事業の促進・浜松湖西豊橋道路の早期実現
名豊道路の建設推進・渥美半島道路の早期実現・設楽ダム建設事業の促進等10事業の要望をした。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	鈴木和基			
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)						
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)						
視察・研修 等目的	(6月2日) ・勉強会1 (外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2 (国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動 (自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)						
行程	6月2日(木) <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">澁美線</small> <small style="margin-right: 20px;">新幹線</small> <small style="margin-right: 20px;">東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">徒歩</small> <small style="margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="margin-right: 20px;">徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">徒歩</small> <small style="margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="margin-right: 20px;">徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="margin-right: 20px;">新幹線</small> <small style="margin-right: 20px;">澁美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅						
経路 別紙のとおり	旅 費						
	鉄道賃	1	9	5	2	0	
	車賃						
	航空賃						
	日当		4	0	0	0	
	宿泊料	1	2	0	0	0	
	研修費						
	合計	3	5	5	2	0	

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察・研修等報告書

2022年6月6日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 鈴木和基

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上誠
期 間	令和4年6月2日（木）～令和4年6月3日（金）			
視察・研修 等先	東京都内 衆議院第二議員会館 自由民主党本部			
視察・研修 等の目的	<p>勉強会「ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交」 「国土強靱化について」</p> <p>要望活動 【国土交通省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊川用水2期事業の促進 ・豊川、柳生川、梅田川の治水対策推進 ・設楽ダム建設事業の推進 ・浜松・湖西・豊橋道路の早期実現 ・渥美半島道路の早期実現 ・名豊道路の建設推進 ・豊橋新城スマートIC（仮称）事業の推進 ・豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発 ・臨港道路「東三河臨海線」の早期実現 ・三河港の整備促進（田原地区 - 10m他） <p>【農林水産省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続充実 ・農業用資材、肥料等の高騰 ・再生産価格を基準とした収入保険制度の導入 ・先進的産地に対する補助事業の創設 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施 ・ 各種農業農村整備事業の推進
<p>視 察 先 等 面 会 者</p>	<p>外務省 総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏 内閣官房 国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏 自由民主党 幹事長代行 梶山弘志衆議院議員 総務会長 福田達夫衆議院議員</p>
<p>概 要 及 び 所 見</p>	<p>1. ウクライナなど世界情勢をふまえた日本の外交 外務省 総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏</p> <p>ロシアによるウクライナへの侵攻が2月に始まり、その中での研修であったため、松原室長の個人的な見解が多く含まれるとはいえ、大変興味深く聞き入れることができた。</p> <p>外交の目的が、日本の3つの「国益」を確保すること（平和、繁栄、国際秩序）であることなど、こういった機会でなければ改めて考えることはない。</p> <p>特にこのタイミングで「平和」とは具体的に外部（外国）から侵略されない準備をすることであり、国防が他人ごとではないことを改めて強く認識した。特に重要なのは、日本が侵略されたら、まず自ら対応しなければ、アメリカは助けに来てくれないということ。</p> <p>間違いなく安全保障環境は厳しさを増している。市議会議員として直接できることは限られるが、他国の平和と安定無くして日本の平和は無いわけであるから、常に近隣の国際情勢は注視していきたい。</p> <p>2. 国土強靱化について 内閣官房 国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏</p> <p>自然災害の形態や規模が年々大規模化している。且つ「東南海地震」の発生リスクは日増しに大きくなっている今日において、非常に重要であり喫緊の課題である「国土強靱化」について国の中枢の方より現状を伝えていただいたことは、大変意味深いものであった。</p> <p>特にこの「国土強靱化」とは災害発生後の復旧、復興を図ることだけでなく、事前防災対策を行うことを重要として取り組まれている。</p>

	<p>「3か年緊急対策」「5か年加速化対策」といずれも先手を打つことが重要となるため、計画にもスピード感が感じられる。本市に限ったことではないが、とにかく最重要の課題として国としても引き続き推進していただきたい。</p>
--	--

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	自由民主党 田原市議団 大竹正章	経理 責任者	村上 誠		
旅行期間	令和4年6月2日から 令和4年6月3日まで	1泊 2日	視察代表	内藤 浩		
旅行先	6月2日(木) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2) 6月3日(金) ・衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)					
宿泊地	ホテルモントレ半蔵門 (〒102-0082 東京都千代田区一番町23番1号)					
視察・研修 等 目 的	(6月2日) ・勉強会1 (外務省総合外交政策局 政策企画室長 松原一樹氏) ・勉強会2 (国土強靱化推進室 次長 五道仁実氏) (6月3日) ・要望活動 (自由民主党本部、農林水産省、国土交通省)					
行 程	6月2日(木) <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">滯美線</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">新幹線</small> <small style="display: inline-block;">東京メトロ</small> 三河田原駅 → 豊橋駅 → 東京駅 → 国会議事堂前駅 → <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">徒歩</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block;">徒歩</small> 衆議院第二会館 → 国会議事堂前駅 → 半蔵門駅 → ホテル ----- 6月3日(金) <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">徒歩</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block;">徒歩</small> ホテル → 半蔵門駅 → 国会議事堂前駅 → 衆議院第二議員会館 → <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">東京メトロ</small> <small style="display: inline-block; margin-right: 20px;">新幹線</small> <small style="display: inline-block;">滯美線</small> 国会議事堂前駅 → 東京駅 → 豊橋駅 → 三河田原駅					
経路 別紙のとおり	旅 費					
	鉄道賃	1	9	5	2	0
	車賃					
	航空賃					
	日当		4	0	0	0
	宿泊料	1	2	0	0	0
	研修費					
	合 計	3	5	5	2	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

別紙

経路

1日目

三河田原駅→新豊橋駅(渥美線)	520円
豊橋駅→東京駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
東京駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→半蔵門駅(東京メトロ)	170円

2日目

半蔵門駅→国会議事堂前駅(東京メトロ)	170円
国会議事堂前駅→東京駅(東京メトロ)	170円
東京駅→豊橋駅(新幹線指定席:293.6km)	8,900円
新豊橋駅→三河田原駅(渥美線)	520円
日当(2,000円×2日)	4,000円
宿泊	12,000円×1泊

* 渥美線で豊島駅上下車の場合▲100円

* 渥美線でやぐま台駅上下車の場合▲200円

視察・研修等報告書

令和 4 年 6 月 7 日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団

議員名 内藤 浩

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹正章	経 理 責任者	村上 誠
期 間	令和 4 年 6 月 2 日 (木) ~ 令和 4 年 6 月 3 日 (金)			
視 察 ・ 研 修 等 先	衆議院第二議員会館、自由民主党本部			
視 察 ・ 研 修 等 の 目 的	研修会・要望会			
視 察 先 等 面 会 者	研修会：外務省 総合外交政策局政策企画室長 松原一樹氏 内閣官房 国土強靱化室 次長 五道仁実氏 要望会：自由民主党 幹事長代行 梶山弘志氏 自由民主党 総務会長 福田達夫氏 農林水産省、国土交通省 各担当課			

概要及び所見

【研修会】

◎国際情勢認識と日本の外交政策について

1) 日本の外交目的…日本の「国益」を確保すること

① 平和、② 繁栄、③ 基本価値に基づく国際秩序

※基本的価値：自由、民主主義、人権、法の支配

2) 国際情勢認識

・パワーバランスの変化

・ロシアによるウクライナ侵略

・地球規模課題（新型コロナ、気候変動等）の深刻化

3) 日本の外交政策

・厳しさを増す安全保障環境⇒抜本的な防衛力強化

・経済安全保障⇒戦略的自律性と戦略的不可欠性の獲得

① サプライチェーンの強靱化、② 基幹インフラの安全性・信

頼性の確保、③ 先端的な重要技術についての官民協力、④

特許の非公開化

・揺らぐ国際秩序⇒「自由で開かれたインド太平洋」の推進

・地球規模課題⇒日本の支援で各国・地域の自立を後押し

◎国土強靱化の推進について

・国土強靱化とは⇒平時から事前防災対策が重要。

① 人命の保護が最大限に図られること

② 重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること

③ 被害の最小化

④ 迅速な復旧・復興

を基本目標として「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会を構築すること。

・国土強靱化関係予算⇒当初予算は固定経費などで使われるため、補正予算や「3 か年緊急対策」や「5 か年加速化対策」により重点的、集中的に実施。

・国土強靱化地域計画⇒地域の強靱化には、「行政」のみならず「民間事業者」や「住民」が連携・協働しながら取り組んでいくことが重要。

【要望会】※豊橋・田原合同で要望

① 豊川用水二期事業の促進（自民党・農水省・国交省）

② 豊川、柳生橋、梅田川の治水対策推進（国交省）

③ 設楽ダム建設事業の促進（国交省）

④ 浜名湖西豊橋道路の早期実現（国交省）

⑤ 渥美半島道路の早期実現（国交省）

⑥ 名豊道路の建設推進（国交省）

- ⑦ 豊橋新城スマート IC（仮称）事業の促進（国交省）
- ⑧ 豊橋駅停車の新幹線「ひかり」増発（国交省）
- ⑨ 臨港道路「東三河臨海線」の早期実現（自民党・国交省）
- ⑩ 「三河港」の整備促進（田原地区岸壁-10 m他）（自民党・国交省）
- ⑪ 原油価格・物価高騰等総合緊急対策の継続・拡充（自民党・農水省）
- ⑫ 農業資材、肥料等の高騰（自民党・農水省）
- ⑬ 再生産価格を基準とした収入保険制度の導入（自民党・農水省）
- ⑭ 先進的産地に対する補助事業の創設（自民党・農水省）
- ⑮ 畜産クラスター事業における複数年度の事業実施（自民党・農水省）
- ⑯ 各種農業農村整備事業の推進（自民党・農水省）

以上 16 の要望を各省庁の担当者へ直接内容を説明しその後、質疑応答や意見を訴えることができました。

旅行命令簿・旅費請求書

研究研修費、調査旅費 要請・陳情活動	会派 代表者	<small>自由民主党田原市議員</small> 大竹正章	経理 責任者	村上 誠			
旅行期間	令和4年12月16日	泊 1日	視察代表	大竹正章			
旅行先	農林水産省 (〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1) 衆議院第二議員会館 (〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-2)						
宿泊地							
視察・研修等目的	農林水産省との意見交換会						
行程	<p style="text-align: center;"><small>参加者自家用車同乗</small> 新幹線 東京メトロ 徒歩</p> めっくんはうす → 豊橋駅 → 東京駅 → 霞ヶ関駅 → 農林水産省 徒歩 → 衆議院第二議員会館 → 徒歩 → 国会議事堂前駅 → 東京メトロ 新幹線 → 東京駅 → 豊橋駅 <p style="text-align: center;"><small>参加者自家用車同乗</small></p> → めっくんはうす						
経路	旅 費						
豊橋⇄東京 (新幹線指定席往復)	18,200円 (9,100円×2)	鉄道賃	1	8	5	4	0
東京⇄霞ヶ関 (東京メトロ往復)	340円 (170円×2)	車賃					
日当	2,000円×1日	航空賃					
		日当	2	0	0	0	
		宿泊料					
		研修費					
※豊橋駅までの移動は同行者の自家用車に同乗		合計	2	0	5	4	0

※太枠内へ所要事項を記入すること。
 経路及び旅費については、事務局にて記入。

視察・研修等報告書

令和4年12月18日

田原市議会議長 殿

会派名 自由民主党田原市議団
議員名 大竹 正章

下記のとおり、視察・研修等が終了したので報告します。

	会派 代表者	大竹 正章	経理 責任者	村上 誠
期 間	令和4年12月16日（金）			
視察・研修 等先	●農林水産省との意見交換会 農林水産省 （〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1）			
視察・研修 等の目的	【意見交換】農林水産省 職員			
視察先等 者 会	農産局総務課生産推進室 橋本課長補佐 農産局技術普及課生産資材対策室 島課長補佐 農村振興局農村政策部農村計画課 渡部課長補佐 農村振興局地域整備課農村整備企画班 堂元企画係長 国土交通省土地政策審議官部門地積整備課 實井課長			
概要及び所 見	<p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料高騰対策について事業説明、仕組みの解説、今後の考え方を伺う。今後国内での原料供給、民間備蓄の3倍化、代替輸入国への外交努力など示された。H20年の同事業と比較し生産者から簡素な手続きが評価される。農業全体の原価上昇について肥料以上に農薬、ダンボール、流通コストが経営に負担となっており対策を要望する声がある。 ・デジタル技術を活用した地域振興についてデジタル田園都市国家構想に基づき関係省庁を横串で連携し取り組む事業の農林水産関係について考えを伺った。渥美半島において重要な示唆が多く含まれ意見交換を行った。具体的なプラットフォームはこれから。 ・食料、農業、農村基本法改訂に向けた動きを資料から説明 			

を受けた。データからも相当に厳しい状況が示されるが規模の拡大が現時点で解決策にならないとの意見が現場側から理由と共に示された。再生産価格の位置づけと消費者への定着は悩ましい所であるが、今後の国内生産を安定的なレベルに定着させるには、それが大切だと共有された。

・強い農業づくり総合支援交付金について意見交換がされたが、ポイント制は強い産地に不平等な部分はかなり改善されている。一方で、県単位では運用に差異があり知らないところで採択を逃す現実も紹介された。産地パワーアップ事業は路地農家への対象事業が少ない旨、現場側から要望された

・外国人技能実習制度について第一回有識者会議（12月14日）の資料を基に説明を受けた。有識者会議の実態が入国管理庁による御用会議だと、農水省、現場両方から批判が出た。唯一全国農業会議所から農家サイドを代表しているとの見方もあるが、現場からは疑問の声があった。特定技能に集約する見込みではあるが、実態として離職の自由を認めることで既に現場、政治マターでは問題事例が深刻化しており人権に配慮することは一義であるが、国内及び地域内環境が激変する事態も憂慮される安易な制度改正は慎重に行われなければならないと感じた。タイミングが抜群でとても良い意見交換会であった。13時30分から16時30分程度。